

平成27年度 地球環境基金
助成活動実績報告書

第v発16004号
平成28年4月7日

独立行政法人環境再生保全機構
理事長 福井 光彦 殿

〒103-0022
住 所 東京都中央区日本橋室町 3-3-3 CMビル 9F
株式会社日本ビジネスソリューション内
団体名 特定非営利活動法人 VERSTA
代表者氏名 田 中 亨 印

(海外ロ案件の場合) 〒 -

代理人住所
代理人氏名 印

平成27年6月11日付環機地第1号により助成金の交付の決定を受けた助成活動の実績について、地球環境基金助成金交付要綱第13条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 助成メニュー： 一般助成
2. 活動名：ジュサラ椰子 (*Euterpe edulis*) を主作目としたアグロフォレストリーの小農普及によるブラジル大西洋沿岸林保全促進事業
3. 活動区分： イ案件
4. 活動形態： 実践
5. 活動分野： 生物多様性保全（環境保全型農業等）
6. 活動地域： ブラジル連邦共和国サンパウロ州セテバラス市リオプレット村
7. 助成金支払総額： 1, 993千円 助成活動自己財源総額： 55千円
8. 報告書作成者氏名及び連絡先
氏名： 小野瀬 由一
電話： 03-3270-0020 メール： yoshi-o@tkg.att.ne.jp
9. 整理番号： 27-イ-A21

注) 活動区分、活動形態及び活動分野は交付申請書に基づき記入すること

その2 [収支決算内訳]

	区 分	金額 (千円)		内 容
収入の部	自己財源 (会費・他助成金等)	5 5		
	地球環境基金助成金	1, 9 9 3		
	計	2, 0 4 8		
支出の部	区 分	基金助成 千円	自己財源 千円	計 千円
	①賃金	0	0	0
	②謝金	7 9 7	0	7 9 7
	③旅費	2 2 6	0	2 2 6
	④物品・資材購入費	3 4 2	1 0	3 5 2
	⑤借損料・役務費	6 2 8	0	6 2 8
	⑥事務管理費	0	4 5	4 5
	計	1, 9 9 3	5 5	2, 0 4 8

その2 [全体的な活動実施内容・実績]

① 全体的な活動概要・実績

本事業は、農業開拓等により既に93%が消失したブラジル国大西洋沿岸林 (Mata Atlântica) の残存保護林に隣接するサンパウロ州セテバラス市等の小農家を対象に、同保護林在来種のジュサラ椰子 (*Euterpe edulis*) を基幹作物としたアグロフォレストリー (AF) を普及させることにより、ジュサラ椰子の違法伐採に依存しない持続可能な小農家経営の構築を目的とする。

今年度の活動概要は、昨年度に引き続き、【活動1】ジュサラ椰子 AF 共同PJ 推進委員会+技術交流会によるジュサラ椰子 AF 栽培技術の共有化、【活動2】ジュサラ椰子 AF モデル圃場設置による栽培面積の拡大、【活動3】ジュサラ椰子 AF 栽培技術フォローアップ指導による AF 栽培技術普及、【活動4】ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーによるジュサラ椰子 AF の重要性和ジュサラ椰子果実の普及啓発を図った。

以上の活動により、セテバラス市内及び周辺市内在住小農家のジュサラ椰子 AF 活動についての関心と理解が深まると共にサンパウロ州政府関係機関、大学研究者・学生、観光業モニター、メディア等の支援参画の輪が拡大し、ジュサラ椰子 AF による持続可能な小農家経営の基盤づくりの重要性について、地域小農家と支援組織の意識共有が大きく前進した。

② 助成活動において作成された成果物、その利用・配布状況など

【活動1】2015年度ジュサラ椰子 AF 共同PJ 推進委員会+技術交流会
・PJ 推進委員会報告書 (日本語・英語) を VERSTA ホームページに掲載し、地球環境基金による VERSTA 支援活動を PR した。

<http://www.versta.org/>

【活動2】2015年度ジュサラ椰子 AF モデル圃場設置

・モデル圃場に苗木2,110本栽培、水タンク3を購入した。

【活動3】ジュサラ椰子 AF 栽培技術フォローアップ指導

・フォローアップ指導報告書 (日本語・ポルトガル語) を作成した。次年度PJ 推進会議での資料配布及び VERSTA ホームページでの PR を計画している。

【活動4】2015年度ジュサラ椰子 AF 啓発セミナー

・AF 啓発アンケートによるアンケート結果を作成した。次年度のジュサラ椰子 AF 啓発活動への活用を計画している。

③ 全体を通じて、活動地域の人々や社会に与えた影響・生じた変化、またその普及の程度

本年度の活動により、モデル圃場がセテバラス市内リオプレット村からハッポーザ村に拡大し、ジュサラ椰子 AF 栽培による持続可能な小農家経営の重要性について、同村在住小農家の関心と理解が深まった。

その結果、ジュサラ椰子 AF 栽培面積は昨年度の 6 農家 0.8ha から今年度は 8 農家 1.9ha に達した。また、啓発セミナーへの参加者は昨年度の 232 名から今年度は 250 名に増加しジュサラ椰子 AF についての関心の高さを示した。

④ 助成活動時のメディアの取材歴、表彰・顕彰歴など

新聞：レジストロ市内農業新聞 (REGIONAL Agrícola) に VERSTA ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーの様子が紹介された (別添スキャン資料参照)。

表彰：VERSTA カウンターパート代表山添源二氏が、永年に亘る日伯友好親善の尽力と成果に対し「日伯外交関係樹立 120 年記念外務大臣記念表彰」を受賞された。

その3 [個別の活動実施内容・実績]

(活動1) ジュサラ椰子 AF 共同 PJ 推進委員会+技術交流会の開催

① 活動内容・活動場所・活動期間・対象(者)

- ・活動内容: ジュサラ椰子 AF 推進委員会及び技術交流会の開催による技術交流
- ・活動場所: セテバラス市文協会館+セテバラス市モデル圃場
- ・活動期間: 2015年8月28日~29日実施
- ・対象者: セテバラス市リオプレット村・グアピルブ村・ハッポーザ村小農専門家、AF 指導専門家及びマーケティング専門家等参加者は2日間合計48名

② 活動結果、及び活動が地域の人びとや社会に与えた影響・生じた変化、またその普及の程度

ジュサラ椰子共同PJ推進委員会において、リオプレット村小農リーダーによるジュサラ椰子AF活動の現状報告、サン・カルロス連邦大学教授によるジュサラ椰子AF支援活動報告、VERSTA支援活動と本年度支援活動計画、セテバラス市職員によるセテバラスのエコツーリズムポテンシャル紹介、Manasa 研究所研究員によるカルロスボテーリョ森林公園の生態等について情報共有が深まった。

また、リオプレット村モデル圃場における技術交流会において、ジュサラ椰子AF栽培の課題と対策等について、小農家と農業指導員等の技術交流が進展した。

③ 活動の目標達成を助けた・妨げた要因

本活動の目標達成を助けた要因は、入門助成からカウントすると通算4年目に入り、カウンターパート体制とプロジェクト支援体制が充実してきたことが指摘できる。

その3 [個別の活動実施内容・実績]

(活動2) ジュサラ椰子 AF モデル圃場設置

① 活動内容・活動場所・活動期間・対象(者)

- ・活動内容：AF モデル圃場の設置によるジュサラ椰子 AF 栽培面積の拡大
- ・活動場所：セテバラス市リオプレット村及びハッポーザ村
- ・活動期間：2014年8月～2015年3月
- ・対象者：セテバラス市リオプレット村及びハッポーザ村ジュサラ椰子 AF 栽培小農家

② 活動結果、及び活動が地域の人々や社会に与えた影響・生じた変化、またその普及の程度

AF モデル圃場は、当初10農家・栽培面積2haを計画したが、活動結果は農家数8農家と計画を下回ったが、栽培面積は1.9haとほぼ計画を達成した。

今年度は、AF モデル圃場の設置を非日系農家のリオプレット村から日系農家のハッポーザ村に拡大することにより、各農家間の意識共有と栽培技術の交流が今後更に進展するものと期待される。

③ 活動の目標達成を助けた・妨げた要因

AF モデル圃場への参加農家が目標を下回った要因は、ジュサラ椰子の収穫可能となるまでの期間が4年と長いことに加え、樹間作物に短期栽培作物を選ばなかった農家は栽培管理に手間がかかるため、ジュサラ椰子 AF 栽培を放棄した農家がいたためと思われる。

その3 [個別の活動実施内容・実績]

(活動3) ジュサラ椰子 AF 栽培技術フォローアップ指導

① 活動内容・活動場所・活動期間・対象(者)

- ・活動内容：ジュサラ椰子栽培マニュアル検討会及びジュサラ椰子 AF フォローアップ指導によるジュサラ椰子 AF 栽培技術の確立
- ・活動場所：セテバラス市リオプレット村及びハッポーザ村
- ・活動期間：2014年8月～2015年3月
- ・対象者：リオプレット村及びハッポーザ村ジュサラ椰子 AF 栽培小農家

② 活動結果、及び活動が地域の人々や社会に与えた影響・生じた変化、またその普及の程度

ジュサラ椰子 AF 栽培技術を確立するため、ジュサラ椰子栽培マニュアル検討会を行い、小農家が常に携帯して愛用するマニュアルづくりを目指すことになった。

また、モデル圃場におけるフォローアップ指導は、当初計画どおり8回実施した。その結果、各農家の栽培形態におけるジュサラ椰子 AF 栽培技術の課題に対しきめ細かな指導が行われた。

③ 活動の目標達成を助けた・妨げた要因

特になし。

その3 [個別の活動実施内容・実績]

<p>(活動4) 2015年度ジュサラ椰子 AF 啓発セミナー</p>
<p>① 活動内容・活動場所・活動期間・対象(者)</p> <ul style="list-style-type: none">・活動内容：ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーへの出展及び主催・活動場所：サンパウロ市及びセッテバラス市ハッポーザ村・活動期間：2015年10月22日及び2016年2月25日～26日・対象者：サンパウロ市民+リオプレット村・ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF 栽培小農家+両村在住若者等
<p>② 活動結果、及び活動が地域の人々や社会に与えた影響・生じた変化、またその普及の程度</p> <p>2015年10月22日開催サンパウロ州政府森林院主催大西洋沿岸林フルーツセミナー(参加者200名)へ出展し、セッテバラス市におけるジュサラ椰子 AF 栽培の啓発活動を行った。</p> <p>また、2016年2月25日～26日にハッポーザ村において、ジュサラ椰子 AF 啓発セミナー及びモデル圃場見学会を開催し、参加者50名をえて、ジュサラ椰子 AF に関するアンケート調査と啓発活動を行った。特に、アンケート調査では、事前のジュサラ椰子 AF の認知度は50%と低かったが、受講後の認知度は90%に高まった。また、ジュサラ椰子の商業化への期待が44%、今後ジュサラ椰子 AF への参加希望が40%となった。</p>
<p>③ 活動の目標達成を助けた・妨げた要因</p> <p>特になし。</p>

※活動内容が4つ以上ある場合は、適宜項目を追加してください。

その4 (自己評価)

以下の記号を用いて、活動の自己評価を行ってください。

(大変良い：◎ 良い：○ 少し問題あり：△ 問題あり：× 該当しない：-)

1. 計画の妥当性	自己評価	コメント・特記事項など
① ニーズの把握：活動地域の環境問題、課題のニーズ、状況等に合致しているか (特に海外での活動の場合)	◎	計画内容は妥当と評価する。
② 活動規模・活動地域の選定：活動地域及び活動規模は適切であったか	◎	
③ 計画・実施のタイミング等：対象者、開催期間、開催時期などが適切であったか	◎	
④ 活動計画が、環境問題、課題解決に対する効果を上げる戦略として適切だったか	◎	

2. 目標の達成度	自己評価	コメント・特記事項など
① 投入、実施目標 (アウトプット) の実績、活動状況に照らして、成果目標 (アウトカム) の達成見込みはあるか	○	・目標達成はほぼ出来たと評価する。
② 実施目標 (アウトプット) は、成果目標 (アウトカム) を達成するために十分だったか	○	

3. 実施の効率性	自己評価	コメント・特記事項など
① 実施目標 (アウトプット) の達成度は適切か (目標と実績の比較)	◎	・実施の効率性は、現地カウンターパート代表のスケジュールが立て込んだため、進行管理にやや手間取った。
② 実施目標 (アウトプット) を達成するために十分な活動が行われたか	◎	
③ スタッフの確保、進行管理、事務手続きは円滑だったか	○	
④ 地域住民、他団体、行政、との連携、募集方法は適切だったか	◎	
⑤ 同じコストでより高い達成度を実現する手段はなかったか	○	

4. 助成活動の効果	自己評価	コメント・特記事項など
① 実施目標 (アウトプット) の達成実績、活動の状況に照らして、成果目標 (アウトカム) は活動結果として発現が見込まれるか	○	・上位目標 (大西洋沿岸林保全率 10% を 30% まで UP) とのかい離があるが、地道な活動が上位目標の達成につながると考える。 ・ジュサラ椰子果実製品化など付加価値化を推進することが、上位目標の達成に繋がると考える。
② 上位目標と成果目標 (アウトカム) は乖離していないか	○	
③ 上位目標以外に環境面、社会経済面等において影響は生じたか	○	

